

びわ湖フローティングスクール所長だより

うみのこ

平成 23 年(2011年) 1 1月発行
滋賀県立びわ湖フローティングスクール
大津市浜大津五丁目 1-7
(Tel) 077-524-8225



若い先生、がんばれ！

所長 江川 久雄

10月末をもってカッター活動の期間が終わりました。カッター活動は、活動の中でも一番びわ湖に近づく機会でもあり、みんなで協力することを意識する場でもあります。前回でも書いたようにカッター一艇は少しの風でも流されることが多く、遠くに行ってしまうのか、岸近くの浅瀬に乗り上げないかと心配します。その時々風の向きや強さ、カッター一艇の方向や位置などに常に気を付けて見えています。

また、会場までの移動中や湖岸での乗り降りなども安全に行われているかなど心配することは多数あります。さらに近年は暑い夏が続いており、暑さで児童が移動や活動中に熱中症にならないか、それも心配になってきます。今年度も長時間熱射に当たらないよう船内と連携して、ぎりぎりまで待機し船外での時間を短くする工夫をされた学校もありました。

このような状況の中、今年度の活動も先生方の御協力の一つの事故もなく無事終了することができました。本当にありがとうございました。今年度のカッター活動実施率は約 60%程度でした。今年度の気象の特徴としては長浜付近で強風が吹くことが多くあるシーズンだったようです。それに伴いカッター活動を中止せざるをえなかったり、時間を繰り上げたり、活動を打ち切ったりした航海もありました。安全第一ということを優先し乗船校の先生方と相談した結果でもあります。

今年度、カッター活動を見ていくつかのことで気づくことができました。それは50代の先生方が元気なことです。50代の先生方は、今まで何回となくカッター艇艇長を体験しておられるので操船が大変うまく、児童の指導も自信をもって行っておられます。

それに対して20代の若い先生に元気がなかったように思います。たまたま私が乗船している航海でも長浜港のカッター会場への移動や終了後の「うみのこ」への移動も大半が管理職を含めた50代の先生が受け持っておられました。近年、新規採用される若い先生が多くなり、「初めての5年生担任」「初めてのフローティングスクールでの指導」「初めてのカッター活動指導」など、『初めて』という言葉がたくさん聞くようになってきました。ある航海では航海計画作成会議に出席された4校の代表者の先生全員が、指導者として『初めて』乗船するということも出てきています。

これからも若い先生方がますます増えていくことが予想されます。このように『初めて』の先生方に、いかに自信を持って指導をしていただくかが当所での重要な課題になってきています。

中でも、特にカッター活動に関しては安全という観点からも何らかの方策が必要になってきています。

一つの解決策として、カッター活動指導者講習会の時期の見直しです。講習会の実施日を多めにし、8月以降の航海の学校に関しては夏季休業中に研修会を実施することも可能ではないかと考えています。

二つ目には、単純なことですが「若い先生に多くの経験を積んでいただく」ということです。カッター艇の移動や搭載などでは経験ある先生方と一緒に2人体制でしていただくことも経験を増やすということではよいのではないかと考えています。

3つめは「湖の子」サポーターとの関係です。近年サポーターを活用される学校があり大変ありがたいのですが、あまりにもその方々を頼りすぎて若い人が活躍する場を奪っているのではないかと危惧し

ています。土曜日や休業中の航海でも副艇長を全てサポーターにお願いされる航海もあります。そんな時こそ若い先生に副艇長を経験していただき、艇長を体験する時の基礎を培ってほしいと思っています。

最後に、学校でカッター活動を指導していただくためにフローティングスクールのホームページに動画を掲載しようと計画しています。